

ONKYO

スピーカーシステム

D-PS100

取扱説明書



⚠ 安全上のご注意

設置の際のご注意

けがや事故の原因となりますので、以下の内容を必ずお守りください。

- ぐらついた台の上や傾いたところ、振動する場所など、不安定な場所は避けて置いてください。また、設置場所の強度は重みに耐えられるものにしてください。
- スピーカーを高いところに設置される場合には、足場が不安定になりますので作業には十分ご注意ください。
- 高いところに設置される場合には、不意な衝撃に対して落下しないよう固定してください。
- 接続コードを人が通るところなど引っ掛かりやすい場所に這わせないでください。つまずいて転倒したり、スピーカーが落下するおそれがあります。
- 本機の上にものを置かないでください。また、本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。

使用の際のご注意

火災や感電の原因となりますので、以下の内容を必ずお守りください。

- 煙が出たり、変な音やにおいがするなど、異常な状態のまま使用しないでください。故障や異常に気付いたら、すぐに接続しているアンプの電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理・点検を依頼してください。
- 分解や改造をしないでください。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
- 水蒸気や水、油分のかかる所に置いたり、本機の上に液体の入った容器を置いたりしないでください。
- ダクトなどから本機内部に金属や燃えやすいものなどの異物を入れないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 長時間、音がはずんだ状態で使わないでください。アンプやスピーカーが発熱するおそれがあります。
- 雷が鳴り出したら、本機や接続機器、接続コードに触れないでください。
- 接続コードの傷付き防止のため、コードの上に重いものをのせたり、コードをくぎやステップルで固定したり、製品の下敷きにならないようにしてください。また、壁や棚などの間にはさみ込んだりしないでください。
- 本機や接続コードを熱器具の近くや直射日光

のあたるところには設置しないでください。

- 本機を移動させるときは、接続コードを外してください。また、グリルネットやスピーカーユニット部を持って移動させないでください。

■音量を上げすぎないようにご注意ください

はじめから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、耳を傷めて聴力障害の原因となることがあります。音量は少しずつ上げてお使いください。また、大音量で長時間続けて使用すると、聴力が大きく損なわれるおそれがあります。

■取り扱い上のご注意

本機は通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。

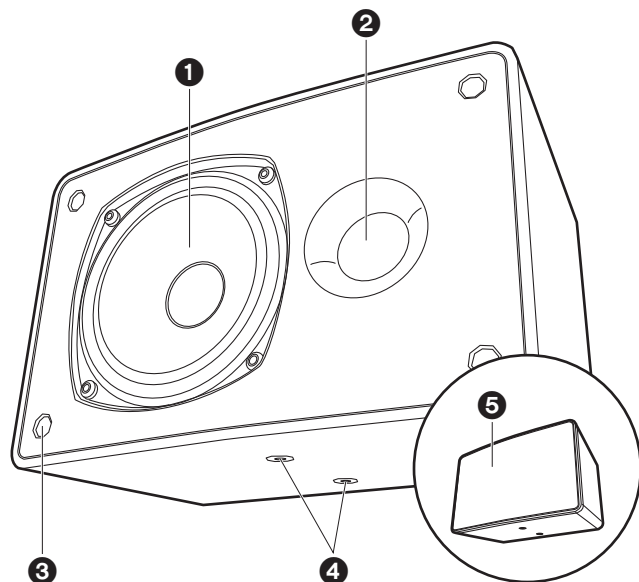
1. FM チューナーが正しく受信していないときのノイズ
2. 発振器や電子楽器等の高い周波数成分の音
3. オーディオチェック用 CD などの特殊な信号音
4. マイク使用時のハウリング
5. テープレコーダーを早送りしたときの音
6. アンプが発振しているとき
7. ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音



- 本機とアンプを接続するときは、アンプのボリュームは出力最小にし、電源プラグを抜いた状態で行ってください。
- 本機の定格インピーダンスは 6Ω です。接続するアンプは 6Ω に対応したものをご使用ください。
- 左右スピーカーの形は同じです。どちらを左側/右側で使用しても、音質は変わりません。
- 組み立て、取り付けの不備、取り付け強度不足、誤使用、天災などによる事故損傷については、弊社は一切責任を負いません。

各部の名前

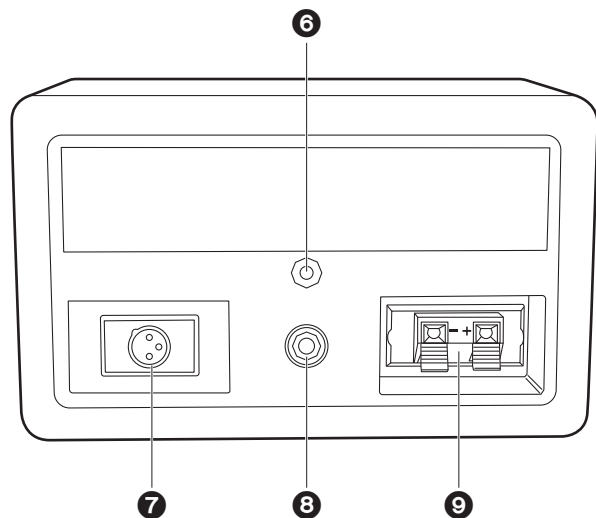
前面、底面



前面、底面

1. スピーカーユニット
2. バスレフダクト
3. グリルネット取付穴
4. 取付金具用ネジ穴 (M5 用ネジ穴 × 2、ピッチ 60 mm、深さ 12 mm)：市販の取付金具を使用して、壁や天井に本機を取り付けることができます。取付金具は、本機の重量に十分耐えられるものをお使いください。
 - ・事前に壁や天井などに、本機の重量に十分耐える取り付け強度があることを確認してください。強度などが不明の場合は専門業者にご相談ください。本機が落下すると大けがをすることがあり、大変危険です。
5. グリルネット

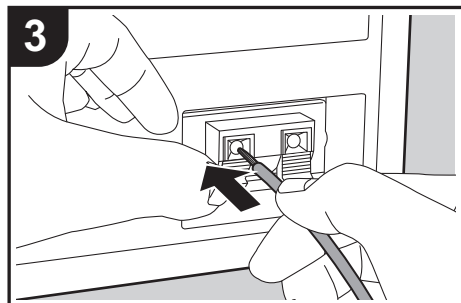
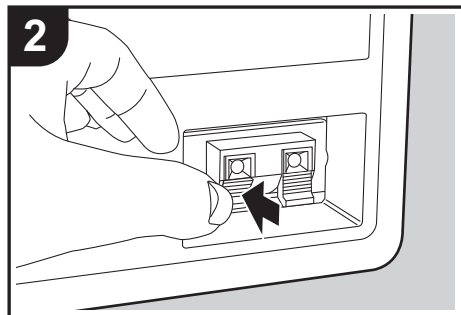
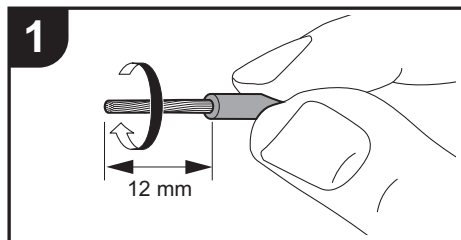
後面



後面

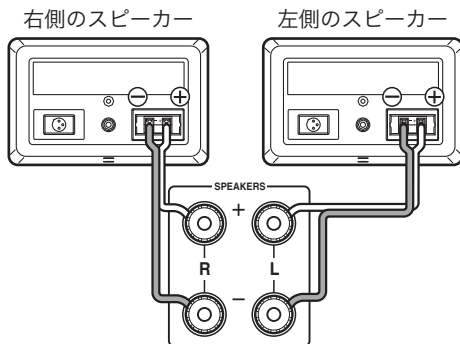
6. 落下防止ワイヤー取付用ネジ穴 (M5 用ネジ穴、深さ 12 mm)：市販のワイヤーを使用して、本機の落下防止処置を行います。本機を高いところに設置される場合や、市販の取付金具を使用して壁や天井に取り付ける場合は、必ず十分な強度のあるワイヤーなどで落下防止の処置を行ってください。
7. XLR 端子
8. フォーン端子
9. プッシュ式スピーカー端子

接続する



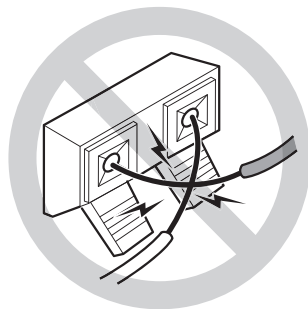
プッシュ式スピーカー端子に接続する

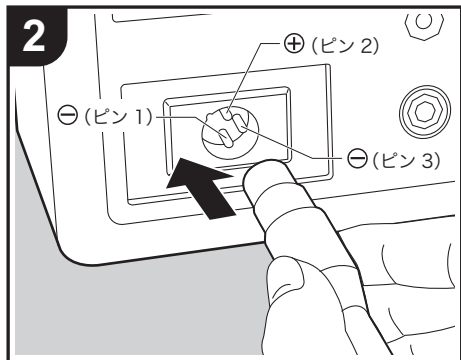
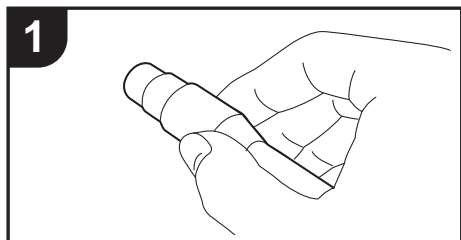
スピーカーケーブルを使用して、アンプと接続します。スピーカーケーブルの芯線はしっかりよじってから、端子に差し込みます。本機の端子の+側とアンプの端子の+側を、-側は-側とを、必ず合わせて接続してください。間違っていると、位相が逆になり低音が出にくくなります。



アンプのスピーカー端子

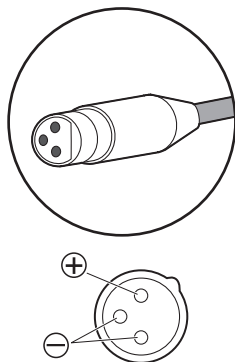
- スピーカーケーブルを軽く引っ張ってみて確実に接続されているかどうか確認してください。
- スピーカーケーブルの芯線が端子からはみ出さないように接続してください。また、回路の故障を防ぐため、芯線が本機の金属部に接触したり、+側と-側が接触しないようにしてください。



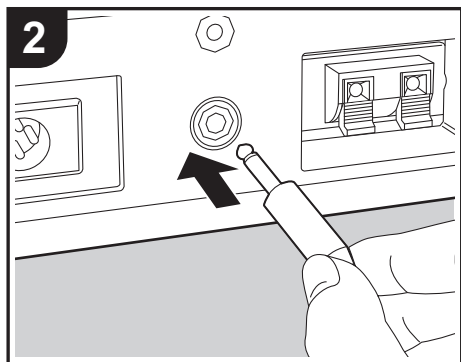
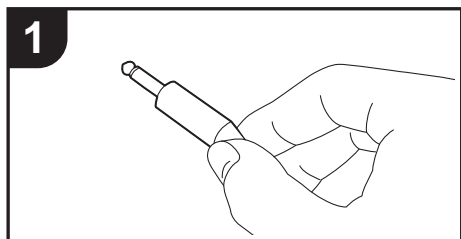


XLR 端子に接続する

XLR ケーブルを使用して、アンプと接続します。ケーブルは必ずスピーカー専用のケーブルを使用してください。

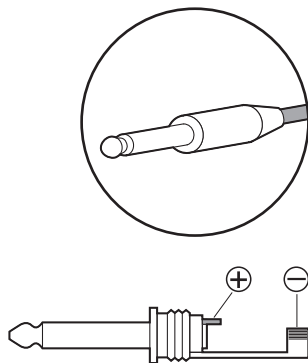


- ピン1とピン3はスピーカー内部で並列接続されています。



フォン端子に接続する

フォンプラグ付きケーブルを使用して、アンプと接続します。ケーブルは必ずスピーカー専用のケーブルを使用してください。楽器用のシールドケーブルを使用すると、ケーブルが発熱し音量が下がる場合があります。

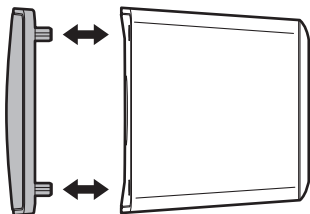


使いかた

グリルネットの脱着

本機は前面のグリルネットを取り外すことができます。グリルネットを取り付けたり、外したりするときは次のように行ってください。

1. グリルネットを両手で持ち、手前に引っ張り、グリルネットを外します。
2. 取り付けるときは、本体のグリルネット取付穴にグリルネットの四隅にあるホルダーを合わせて押し込みます。

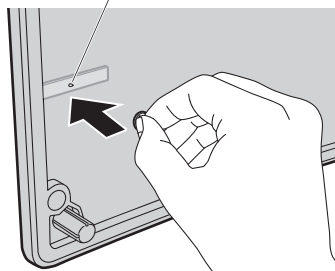


ロゴバッジを付ける

付属のロゴバッジをグリルネットに取り付けることができます。

1. グリルネットを取り外します。
2. ロゴバッジに付いているピン留めを指でつまんで外します。
3. グリルネット内側の印のあるあたりに、グリルネットの外側からロゴバッジのピンを差し込みます。ピン留めを指でつまんでロゴバッジのピンに固定してください。

ロゴバッジのピン部分



テレビやパソコンとの近接使用について

一般にテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。

本機は防磁設計ではありません。ブラウン管テレビを本機の近くでご使用になると、色むらやひずみが生じる場合があります。そのときは、本機をテレビから離してください。

- テレビなどの近くに置く場合、テレビから出ている電磁波の影響でオーディオ機器の電源を切っていてもスピーカーから雑音を発生することがあります。この雑音が気になる場合は、テレビからさらにスピーカーを離してご使用ください。
- 本機のスピーカーユニットには、非常に強力な磁石を使用しております。スピーカー前面にドライバー等の金属を近づけないでください。また、キャッシュカード、フロッピーディスク等の磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■機器内部の点検について

お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をおすすめします。

本機の内部にほこりがたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

■お手入れについて

製品の表面は時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に、柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコール、スプレー式殺虫剤など揮発性のものは、ご使用にならないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。スピーカーのグリルネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るかブラシをかけるとよくほこりを取ることができます。

ご相談窓口・修理窓口のご案内

お電話による故障判定と、修理受け

意外な操作ミスが故障とされています。お問い合わせの前に取扱説明書をもう一度お調べください。
また弊社ホームページサポート情報にもトラブル解決のFAQを掲載していますので、ご参照ください。

電話番号、受付時間などは変更になる場合がございます。

オンキヨーオーディオコールセンター

050-3161-9555

(受付時間：10:00～18:00 土・日・祝日および弊社で定める休業日を除きます)

- ・製品操作のご案内、リモコン等付属パーツのご要望、その他ご不明な点についても受け付けております。
- ・スムーズな対応のため、お問い合わせの前に以下の情報をお調べください。
 - －製品の型番
 - －接続している他機器
 - －できるだけ詳しい不具合状況
 - －ご購入店名
 - －ご購入年月日

メールによる修理お申込み

<http://www.jp.onkyo.com/support/servicebase.htm>
からお申込みいただけます。

お近くの修理拠点へ持込みをご希望の場合は

下記のURLに全国の修理拠点の案内がございます。

<http://www.jp.onkyo.com/support/servicebase.htm>

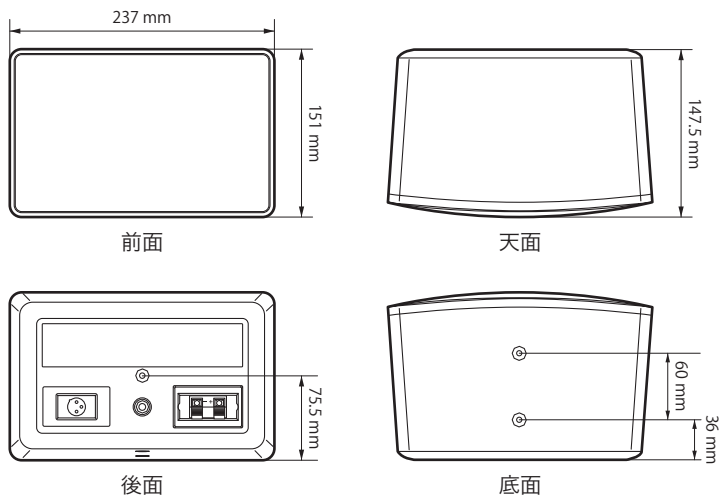
保証書について

保証書の記載事項をご確認ください。また、所定事項をご記入いただき大切に保管してください。保証期間内に万一、故障や異常が生じたときは、保証書をご用意のうえ、相談窓口にご相談ください。

保証期間終了後の修理について

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後、最大8年間保有しています。保有期間経過後でも故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ご相談ください。

寸法



主な仕様

形式:	フルレンジ バスレフ型
インピーダンス:	6 Ω
最大入力:	70 W
出力音圧レベル:	88 dB/W/m
再生周波数帯域:	60 Hz ~ 19 kHz
指向角:	水平 110°、垂直 120°
外形寸法 (幅×高さ×奥行):	237 × 151 × 147.5 mm (グリルネット装着時、ターミナル突起部含む)
質量:	2.2 kg
使用スピーカー:	12 cm コーン型
ターミナル:	プッシュ式スピーカー端子、フォン端子、XLR 端子
防磁設計:	無
付属品:	ロゴバッジ (ピン留め付き)(1)、保証書 (1)、取扱説明書 (本書)(1)

- ・仕様および外観は予告なく変更することがあります。

ONKYO

オンキヨー & パイオニア株式会社

〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目3番12号

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先:

オンキヨーオーディオコールセンター

☎ 050-3161-9555 (受付時間 10:00~18:00 (土・日・祝日・弊社の定める休業日を除きます))

サポートのご案内、オンラインユーザー登録 (*) : <http://www.jp.onkyo.com/support/audiovisual/index.htm>

(*) ユーザーの皆様により快適な製品サービスを提供するために、オンラインユーザー登録を行っています。

Eメールによる製品サポート情報や製品関連情報のお届け、ONKYO DIRECTオンラインショップからの情報

メールのご案内などのサービスをご利用いただくことができます。

(ご登録いただいたお客様情報は、弊社のサービス以外の目的で使用されることはありません)

SN 29402932A

(C) Copyright 2016 Onkyo & Pioneer Corporation Japan. All rights reserved.



* 2 9 4 0 2 9 3 2 A *

F1612-1